

豊岡市青少年センターだより



豊岡市青少年センター・
豊岡市青少年補導委員

の紹介

「パトロール」と背中にプリントされた緑色のジャンパーを着て街角に立っている人の姿を、児童の登下校の時間帯に見かけます。

近年、子どもたちが犠牲になるさまざまな事件が発生しています。豊岡市内でも不審者や変質者の出現がかなり報告されています。子どもたちが安心して登下校できる環境をつくろうと、小学校区ごとに学校・区・公民館等が協力して、ボランティアとして活動されているものです。

その他の機関として、県公安委員会委嘱の少年指導委員、警察本部長が委嘱している少年警察協働員、各警察署委嘱の子どもを守るモニター、防犯協会の少年補導員等のボランティア活動があり、市内には「子どもを守る110番の家」で協力をいただいで

いる方も多くあります。

また、豊岡市には青少年の補導活動にボランティアで活躍している団体がありますので紹介します。

はじめに

昭和45年7月に、青少年の補導活動を総合的に推進し、青少年の非行を防止するとともに、その健全な育成を図ることを目的として、豊岡市教育委員会の所管下に、豊岡市青少年補導センターが設置されました。その後、新市発足で「豊岡市青少年センター」と改称しました。

そして、青少年センターの補導業務を円滑に実施するため、青少年補導委員を置いています。

青少年センターの活動

青少年の問題行動は、万引きなどの初発型非行を中心に、非行の低年齢化が進んでいます。市民一人ひとりが自らの問題として、さらに地域社会

の問題として取り組むため、青少年センターは、次のことに取り組んでいます。



街頭補導活動

毎月10回程度を昼間と夜間に振り分け、青少年補導委員の3～5人と青少年センター職員で、ゲームセンター、ボウリング場、書店、駅、公園等を巡回し、青少年の動向を把握するとともに、非行を早期に発見し、子どもたちに路上での「声かけ」を行っています。注意を促しても、大半の子どもたちは素通りしてい

きます。そんな時には空しさを感じることもありますが、子どもたちも少なからず分かってくれていると思いますし、勇気を持って「声かけ」を止めずに続けています。強く注意をしたくても何の権限もありませんから、なかなか成果が上がらない活動ですが、腕章をつけ懐中電灯を肩からぶらさげ、雨降りのなか、雪のなか、寒さ暑さのなか、地域の子どものたのびを意識して、地味ながら活動しています。

また、多くの人々が集まる催しや行事の際には、特別計画により警察・学校と連携を取りながら巡回しています。

相談活動

青少年センターでは、相談活動にも力を入れています。相談は、非行に限るものではありません。いじめ、不登校、親子関係、友人関係などを含めお受けしています。相談は、当所に来られても、電話でも結構です。ご利用ください。

地域での活動

青少年補導委員は、旧市内

7地区にグループ分けされており、各地区で定期的に「地区懇談会」を開催し、地区内の駐在さん、学校の先生を招き、地区の子どもたちの動向、地区内の危険箇所等についての話し合いと、地区内のパトロールを実施しています。

また、青少年補導委員は、モニター業務として、地区内の有害環境等の情報提供を依頼しており、何かあれば青少年センターに連絡が入るようになっていきます。

以上、青少年の健全育成、非行防止活動に取り組む青少年センターと青少年補導委員の実践活動の一端をご紹介します。次代を担う青少年の心身ともに健やかな成長は、市民共通の願いでもあります。

今後とも、皆さんのご理解とご協力をよろしく願っています。

豊岡市青少年センター

(豊岡市教育委員会内)

☎24・6666(直)

電話相談 フリーダイヤル

☎0120・01・7867